

❷琉球銀行

クラウドのメリットを活用し インフラをモダナイゼーション!



2024 年

背景

琉球銀行さまのホームページは 2017 年にオンプレミスから AWS(アマゾン ウェブ サービス)へ移行いたしました。当時は初めての AWS 利用だったこともありリプラットフォームでの移行※となりましたが、今回 OS の EOM(End of Maintenance) に伴うサーバ更改を機に、よりクラウドのメリットを享受できるようインフラのモダナイゼーションをご提案いたしました。

※ リプラットフォームとは

クラウドの機能を活用するため、移行時に部分的な最適化を行う手法

(例:オンプレミスのデータベースを Amazon RDS へ移行)

クラウドのメリットを活用するには・・・

オンプレミスとクラウドの違いの一つに「マネージドサービス」や「サーバレスサービス」が挙げられます。これらサービスの概要と活用することで得られるメリットについて下記にてご説明いたします。

① マネージドサービスの活用

AWS では責任共有モデル(右図)により、 AWS と AWS 利用者の責任分界点 が定義されています。マネージドサービス を活用することで OS やミドルウエアの管 理を含めた大半のタスクを AWS の管 理とすることができ、運用コストの削減が 見込めます。

▼ 責任共有モデル

アプリからの利用	
スケーラビリティ	
可用性	
バックアップ	
ミドルウェアのパッチ	
ミドルウェアの導入	
OSのパッチ	
OSの導入	
サーバメンテナンス	
ラック導入管理	
電源、ネットワーク	
オンプレミス	





利用者の管理

AWS の管理

② サーバレスサービスの活用

「サーバレス」サービスとは「サーバが無い」サービスではなく、「サーバの管理を意識せずに利用できる」サービスです。 Amazon API Gateway や AWS Lambda は使った時間(リクエストに対する処理をした時間)に対する従量課金となるため、AWS 利用料金の削減が見込めます。

▼ AWS のサーバレスサービス(一部)



【Amazon API Gateway】 外部からアプリケーションを呼び出す ためのインタフェースを提供するサー ビス



【AWS Lambda】 サーバ自体の管理等を行わずに プログラムを実行できるサービス

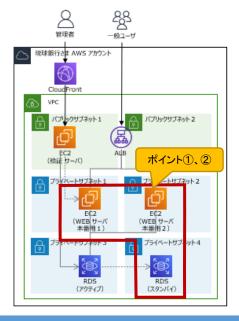
お客さまの構成やご要望に合った AWS 活用をご提案いたします。 ぜひ一度リウコムへご相談ください!



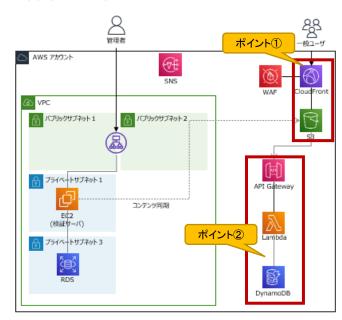
モダナイゼーションによる変更点

EC2 で提供していたコンテンツを整理し、「マネージドサービス」や「サーバレスサービス」の活用を増やすことで、クラウドのメリットを享受できる構成としました。

▼ モダナイゼーション前



▼ モダナイゼーション後



変更点

① マネージドサービスの活用

ホームページコンテンツの大半は静的コンテンツだったため、コンテンツ配信基盤を Amazon EC2 → Amazon S3 + Amazon CloudFront に変更しました。

② サーバレスの活用

EC2 で稼働していた動的コンテンツは、サーバレスサービスである Amazon API Gateway + AWS Lambda に変更しました。

得られるメリット

マネージドサービスである Amazon S3 や Amazon CloudFront を活用したことで、下記のメリットが得られます。

- ・マネージドサービスは管理の大半を AWS が対応するため、 運用コストの削減や可用性の向上に繋がります。
- ・Amazon EC2 と比較してサービス単価が安いことや、冗長化の考慮が不要となるため、コスト削減に繋がります。

サーバレスサービスである Amazon API Gateway や AWS Lambda を活用したことで、下記のメリットが得られます。

- ・サーバレスサービスは処理した時間に対する従量課金のため、 コスト削減が見込めます。
- ・OS やミドルウェアの管理は AWS が対応するため、アプリケーションの開発に注力できます。

まとめ

初期移行で終わらせるのではなく、その時々の状況に応じた見直しを行うことで、クラウドのメリットをより享受することができます。

お問い合わせはこちら



〒900-0015

沖縄県那覇市久茂地1丁目7番地1号 琉球リース総合ビル 11階

3 098-869-5003

aws_info@ryucom.co.jp



アマゾン ウェブ サービス、Amazon Web Services、AWS、Amazon Connect およびAmazon Web Services ロゴは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。